

LEADERSHIP CHALLENGE

大隈塾 LC レポート vol.06

大隈塾リーダーシップ・チャレンジは9月10日（土）、ワークショップ「稲刈り」を行いました。もともと10日（土）11日（日）と、山小屋に宿泊しての合宿予定でしたが、実施予定日の天候が不安定な予報と、続いて襲った台風の影響によって田んぼがまったく乾いていない状態であることから予定を短縮、日帰りでの実施となりました。

2～3時間の稲刈りでしたが、「それくらいなら……」と軽く考えていた受講生はあとでびっくり。まず、ぬかるんだ田んぼに一步踏み入れ、二歩目を踏み入れた段階でもう立ち往生。（受講生約一名）。片足で踏ん張ってもう片足を引き上げようにも、太ももの筋肉、腹筋と背筋の衰え、バランス感覚の鈍りからか、どうにも足が動かない、というみんなを和ませる場面からスタート。実際にカマを持って稲を刈るにしても、25年ぶりの直撃台風の被害はやっかいで、完全に倒れきった稲は「サク、サク、サク」とはリズムカルには刈れません。右手に持ったカマで稲の一株を起こしては、左の手で握ってカマで刈る。また起こしては刈る、という鈍い動作。「すぐ終わるだろう」という見込みは、時間的にも作業量的にも裏切られ、ただひたすら足元の悪い中での単純作業に終始しました。

しかし、得るところも多かったようです。たとえば、食べるものを自分でつくることによる想像力がついたこと。稲刈りの日が迫るにつれ、雨が降る風が吹く、台風が来ることがコメの生産にどんな影響を与えるか、思いを巡らすようになったことです。当日は稲刈りしながら、自分たちが植えた稲への愛着すら感じられた受講生もいました。

大隈塾の田んぼは作業面積は1反5畝、およそ1500平方メートル。土曜日3時間の作業ではその半分ぐらいしか刈り取ることができませんでしたが、早稲田大学大隈塾のゼミ生が引き継ぎ、翌日無事刈り取ることができました。成果予定は9俵＝540kgのコメになります。1人あたりのコメの年間消費量は約60kgですから、9人分にあたります。

【受講生のレポートより】

スケジュールの変更に伴い、1.5時間という短い稲刈り時間をかなり甘く見ていました。水分を吸い粘土質になった土壌の中での作業は 体力を奪い、思い通りに作業が進まない事への苛立ちは、参加者其々が感じていたと思いますが、天候というコントロールができない事象に対して、如何に上手く立ち回るか、それでも収穫はしなくてはならない点等、仕事に通じるものがあると思いました。

=====

まず自分達が5月に植えた苗が収穫できるまでに成長していたことが純粋にうれしかった。そこまで育てていただいた鴨川自然王国の方々に感謝しなければいけないと思った。

=====
稲を刈る作業も最初はぎこちなかったが、刈り方に慣れてくると作業のスピードは徐々に増してきた。さらに稲を刈る人とそれを受け取って並べていく人との呼吸がうまく合ってくると作業のスピードが大幅に向上した。農作業でもチームワークと個人の力の両方が大切だということを感じることができた。

一方で作業に慣れてくると、鎌で手を切る人が増えてきた。作業に慣れてくると、作業を優先するあまり手元を確認するという動作が疎かになってくるのが主な原因と考えられる。鉄道業に従事するという立場としてこのような観点も忘れずに仕事をしていきたい。

=====
天候や災害のニュースを聞く際に、今の自分でしたら時間通りに会社に付けるか、洗濯は出来るかなどを考えてしまいがちですが、農家の皆さんにとってはきっと田んぼの状況が第一で、それによって収穫量も増減し、家計にも影響が出るかと思います。悪天候や災害続きの場合は、農家の皆さんだけでなく、私たち消費者にも影響がでます。今後、天候や災害を人ごととするのではなく、もう少し視野を広げて考えていければと思います。

足を田んぼに入れて自然の土・水・虫と戯れることによって、自然の偉大さを改めて感じました。ぜひ、機会があれば田植えから参加し、最後お米になるまでの過程を体験してみたいです。

=====
普通に食している「ご飯」ですが、残さず食べます。

=====
田植え後から稲刈りまでの、ケアを自然王国の方々にやって頂いているがそれでも稲そのものには少なからず愛情をもった自分もおり、デスクワークだけが仕事ではなく、広い意味でものづくりの大変さ重要性を見つめ直せた。特に商社は自分達で商品製造しないため、この振り返りは重要。

大隈塾リーダーシップ・チャレンジレポート vol.06

2016年9月15日発行(通算27号)

大隈塾事務局(一般社団法人ストーンスープ)

村田信之 mura@ta2.so-net.ne.jp

169-0051 東京都新宿区西早稲田 1-9-19 アーバンヒルズ早稲田 207

tel:050-3558-7527 mail:ookuma_school@stonesoup.tokyo